

平成 2 4 年度 地盤沈下対策事業 再評価調書

事業名		地盤沈下対策事業		地区・路線名		藍住 2 期地区																												
事業主体		徳島県		関係市町村		板野郡藍住町																												
事業概要	(事業目的) 本地区は、徳島市の北西部に位置する低平な水田地帯である。 本地区の地盤は、地下水の汲み上げ等により地盤沈下を生じている。このため用水路の縦断勾配の変動や通水断面の不足等により通水能力不足が生じている。このため地区内用水路の恒久的地盤沈下対策として、農業用水路をパイプライン化し農業経営の安定を図ることを目的としている。																																	
	(事業内容) <table><tr><td>受益面積</td><td>125ha</td><td></td><td></td></tr><tr><td>受益戸数</td><td>322戸</td><td></td><td></td></tr><tr><td>主要工事</td><td>揚水機場工</td><td>1 箇所</td><td></td></tr><tr><td></td><td>幹線管水路工</td><td>4,160m</td><td></td></tr><tr><td></td><td>末端配管施設</td><td>125ha</td><td></td></tr><tr><td>総事業費</td><td colspan="3">2,497,100千円(国55%, 県39%, 町6%)</td></tr><tr><td>工 期</td><td colspan="3">平成 1 5 年度～平成 2 7 年度</td></tr></table>							受益面積	125ha			受益戸数	322戸			主要工事	揚水機場工	1 箇所			幹線管水路工	4,160m			末端配管施設	125ha		総事業費	2,497,100千円(国55%, 県39%, 町6%)			工 期	平成 1 5 年度～平成 2 7 年度	
受益面積	125ha																																	
受益戸数	322戸																																	
主要工事	揚水機場工	1 箇所																																
	幹線管水路工	4,160m																																
	末端配管施設	125ha																																
総事業費	2,497,100千円(国55%, 県39%, 町6%)																																	
工 期	平成 1 5 年度～平成 2 7 年度																																	
評価	(事業の進捗状況) 平成 2 4 年度までに揚水機場1箇所、幹線管水路 3, 3 7 1 m, 末端配管施設100.9haを実施している。 平成 2 4 年度末の事業費進捗率は 6 8 %となっている。																																	
	(関連事業の進捗状況) 特になし。																																	
	(社会経済情勢の変化) 計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化は少ない。																																	
評価項目	(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。																																	
	(事業効果の発現状況) 本事業の実施により農業用水路がパイプライン化されれば、生産性の向上及び農業経営の安定に資する。 東中富工区については、平成 1 9 年度に末端配管施設が完成し供用開始しており、効果が発現している。富吉工区については、末端配管施設が完成した区域において、部分的に効果が発現している。 投資効率＝総事業効果額／総事業費＝ 1. 3 0																																	
評価項目	(受益農家、関係機関の意向) 安定した営農の確立のため、地元「富吉土地改良区」及び藍住町から事業の早期完成を要望されている。																																	
	(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。																																	